




Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

[システムの概要](#)
[システムサポート CD の使い方](#)
[セットアップユーティリティの使い方](#)
[仕様](#)
[用語集](#)

-  **メモ:** メモは、コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。
 -  **注意:** 注意は、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。
 -  **警告:** 警告は、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。
-

ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。© 2003 Dell Computer Corporation. All rights reserved.

Dell Computer Corporation の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について: Dell, DELL, PowerEdge, および Dell OpenManage は Dell Computer Corporation の商標です。Intel, Pentium, および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft, Windows, および MS-DOS は Microsoft Corporation の商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Computer Corporation に所属するものではありません。

Model DHM

初版: 2003 年 5 月

[目次ページに戻る](#)

仕様

Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

- [仕様](#)

仕様

プロセッサ	
プロセッサの種類	クロック速度 2.0 GHz 以上の Intel® Celeron® プロセッサ × 1、またはクロック速度 2.2 GHz 以上の Intel Pentium® 4 プロセッサ × 1
フロントサイドバス速度	400 MHz 以上、プロセッサによって異なる
セカンドキャッシュ	L2 : 128 KB 以上、プロセッサによって異なる

拡張バス	
バスの種類	PCI 2.2
拡張スロット	汎用 3.3 V および 5.0 V カード対応のハーフレングス、32 ビット、33 MHz の 5.0 V コネクタ × 4

メモリ	
アーキテクチャ	デュアルチャネル DDR 333 および DDR 400 SDRAM、ECC、64 ビット DIMM メモ: Pentium 4 プロセッサと 800 MHz フロントサイドバス実装時、DDR 333 DIMM は 320 MHz で動作します。
メモリモジュールソケット	184 ピンソケット × 4
メモリモジュール容量	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
最小RAM	128 MB
最大RAM	4 GB

ドライブ	
ハードドライブ	1 インチの内蔵 IDE、SATA、または SCSI (オプションの SCSI コントローラ実装時) × 2
ディスクドライブ	3.5 インチ、1.44 MB × 1
オプティカルドライブ	IDE CD、DVD、または CD-RW/DVD コンボドライブ (× 1 または 2 つの 5.25 インチドライブベイ使用)
テープドライブ (オプション)	IDE テープバックアップユニット (下部 5.25 インチドライブベイ)

コネクタ	
外部からアクセス可能 (背面)	
NIC	RJ-45
パラレル	25 ピン (双方向)
PS/2 (キーボード/マウス)	6 ピンミニ DIN × 2
シリアル	16550 互換 9 ピンコネクタ × 2
USB	USB 2.0 準拠の 4 ピンコネクタ × 6
ビデオ	15 ピン VGA コネクタ
内部装備	
プライマリおよびセカンド IDE チャンネル	40 ピンコネクタ × 2
プライマリおよびセカンド SATA チャンネル	7 ピンコネクタ × 2

プライマリおよびセカンド SCSI チャンネル (オプション)	68 ピン Ultra3 SCSI コネクタ × 2
ディスクドライブチャンネル	34 ピン × 1

ビデオ	
ビデオのタイプ	ATI Rage XL PCI ビデオカード、VGA コネクタ
ビデオメモリ	8 MB

電源	
DC 電源装置	
注意: 電源を入れる前に、電源装置の電圧選択スイッチが適切な電圧に設定されているか確認します。電圧選択スイッチの位置については、 図 1-2 を参照してください。	
ワット数	250 W
電圧	周波数 50/60 Hz で、90 ~ 135 V は最大電流 6 A、180 ~ 265 V は最大電流 3 A
熱消費	910 BTU/時
最大流入電流	通常のラインコンディションのもと、システムの操作可能範囲を越えて、入電量が電源装置 1 台に付き 10 ms 以下で 25 A に達することがあります。
バッテリー	
システムバッテリー	3.0 V コイン型リチウムイオンバッテリー CR 2032

物理的仕様	
高さ	42.7 cm (16.8 インチ)
幅	19.1 cm (7.5 インチ)
奥行	45.0 cm (17.7 インチ)
重量 (最大)	12.7 kg (28 ポンド)

環境仕様	
温度	
動作時	10 ~ 35°C メモ: 35°Cで、操作時の最大許容高度は 914 m です。
保管時	-40 ~ 65°C
相対湿度	
動作時	20% ~ 80% (結露しないこと)
保管時	5% ~ 95% (結露しないこと)
最大振動	
動作時	0.25 G (3 ~ 200 Hz、0.5 オクターブ/分)
保管時	0.5 G (3 ~ 200 Hz、1 オクターブ/分)
最大衝撃	
動作時	50.8 cm / 秒の速度変化でボトムハーフサインパルス
保管時	非動作時 (ハーフサインパルス) 105 G、2ms 非動作時 (フェアードスクエアウェーブ) 508 cm / 秒の速度変化で 27 G
高度	
動作時	-15 ~ 3048 m
保管時	-15 ~ 10,600 m

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システムの概要

Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

- [正面パネルの機能およびインジケータ](#)
- [背面パネルの機能](#)
- [システムの機能](#)
- [サポートされているオペレーティングシステム](#)
- [パワープロテクションデバイス](#)
- [その他のマニュアル](#)
- [テクニカルサポートの利用方法](#)

この項では、お使いのシステムの主要なハードウェアとソフトウェアの機能、およびシステムの正面パネルと背面パネルにあるインジケータについて説明します。また、システムをセットアップする際に必要なその他のマニュアルの情報や、テクニカルサポートへの連絡方法についても説明します。

正面パネルの機能およびインジケータ

[図 1-1](#)に、システムの正面パネルに装備された機能とインジケータを示します。[表 1-1](#)では、正面パネルの機能とインジケータについて説明します。

図 1-1. 正面パネルの機能およびインジケータ

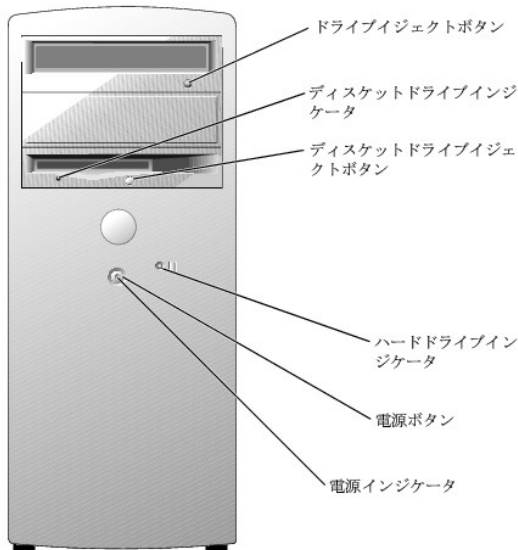


表 1-1. 正面パネルの機能およびインジケータ

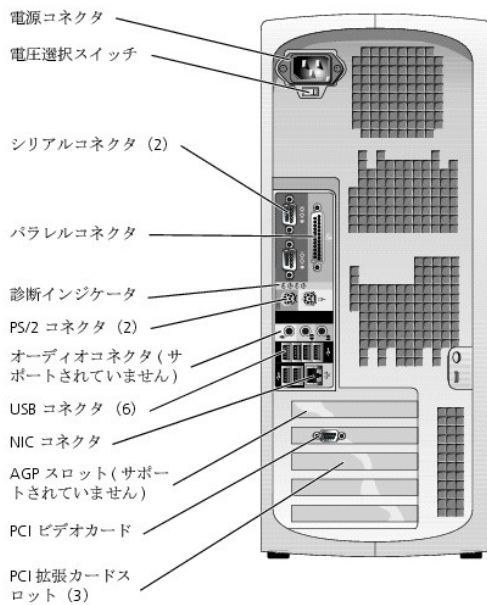
インジケータまたは機能	説明
ディスクドライブインジケータ	ディスクドライブでディスクのデータの読み取り中または書き込み中に点滅します。
ハードドライブインジケータ	ハードドライブでデータの読み取り中または書き込み中に点滅します。このライトは、CDドライブなどのデバイスが動作中にも点灯します。
電源インジケータ	電源インジケータは、点滅したり点灯することで異なる状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">1 オフ — システムが動作していない状態です。1 緑色の点灯 — システムは通常の動作状態です。1 緑色の点滅 — システムは省電力状態です。

	省電力状態から復帰するには、マウスを動かすかクリックする、または電源ボタンを一瞬押します。
電源ボタン	システムの電源をオンまたはオフにするには、このボタンを押します。 注意： 電源を入れる前に、電源装置の電圧選択スイッチが適切な電圧に設定されているか確認します。電圧選択スイッチの位置については、 図 1-2 を参照してください。

背面パネルの機能

[図 1-2](#) に、システム背面パネルの機能を示します。[図 1-3](#) および [表 1-2](#) では NIC インジケータについて説明します。診断インジケータについての説明は、『インストール&トラブルシューティングガイド』を参照してください。

図 1-2. 背面パネルの機能



注意：システムへの損傷を避けるため、電源を投入する前に、電源装置の電圧選択スイッチ ([図 1-2](#) 参照) が、設置場所の AC 電源に対して最も近い値に設定されていることを確認します。また、モニターや接続されているデバイスが、設置場所で使用する電力で作動することを定格ラベルで確認します。

図 1-3. NIC インジケータ

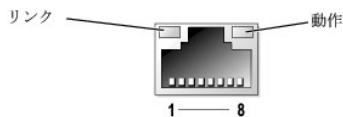



表 1-2. NIC インジケータ

インジケータ	通常の動作	エラーの状態
動作	橙色の点滅は、ネットワークデータを送信中または受信中であることを示します。	NIC インジケータとリンクインジケータが同時に消灯している場合、NIC はネットワークに接続されていません。
リンク	緑色の点灯は、NIC がネットワーク上の有効なリンクパートナーに接続されていることを示します。	NIC インジケータと動作インジケータが同時に消灯している場合、NIC はネットワークに接続されていません。


システムの機能

お使いのシステムには、次の機能が搭載されています。

- 1 次のいずれかのプロセッサ:
 - o Intel® Celeron® — クロック速度 2.0 GHz 以上、フロントサイドバス速度 400 MHz 以上、レベル 2 (L2) キャッシュ 128 KB 以上
 - o Intel® Pentium 4 — クロック速度 2.2 GHz 以上、フロントサイドバス速度 533 MHz 以上、レベル 2 (L2) キャッシュ 512 KB 以上

 **メモ:** プロセッサの情報を表示するには、セットアップユーティリティを使用します。詳細については、「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。

- 1 最小容量 128 MB の DDR 333 および DDR 400 の SDRAM ECC メモリ。システム基板上の 4 つのメモリモジュールソケットに 128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB の非バッファメモリモジュールを取り付けることによって最大 4 GB まで増設できます。
- 1 1 インチ内蔵ハードドライブ (IDE、SATA、または SCSI) × 2

 **メモ:** バスのタイプが異なるハードドライブを組み合わせて使用することはできません。ハードドライブは両方とも同じタイプのものを使用してください。

- 1 内蔵 IDE ハードドライブ、光学ドライブ (CD、DVD、CD-RW/DVD コンボ)、およびオプションのテープバックアップドライブ用のオンボード IDE コントローラ。内蔵ハードドライブ用のオンボード SATA コントローラ (利用可能な場合)。オプションの SCSI ドライブ用 SCSI コントローラ。
- 1 ディスケットドライブ用の 3.5 インチドライブベイ × 1、およびサポートされている以下のドライブ用の 5.25 インチドライブベイ × 2CD、DVD、CD-RW/DVD コンボドライブ、またはテープバックアップユニット (IDE)

システム基板には、次の機能が内蔵されています。

- 1 32 ビット 33 MHz PCI 拡張スロット × 4
- 1 最大解像度 1280 × 1024 ピクセル、1670 万色の表示 (ノンインターレース) が可能な 8 MB SDRAM ビデオメモリ内蔵 (アップグレード不可) の VGA 互換 ATI RAGE XL ビデオカード × 1
- 1 10 Mbps、100 Mbps、および 1000 Mbps のデータ転送速度をサポートする内蔵 Gigabit Ethernet NIC × 1
- 1 コンピュータのセキュリティを守るシャーマシントルーションアラーム (侵入警告) およびパッドロックタブ

お使いのシステムには、次のソフトウェアが付属しています。

- 1 システム設定情報の表示や変更をすばやく行えるセットアップユーティリティセットアップユーティリティの詳細については、「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。
- 1 セットアップユーティリティから利用可能な、システムパスワードおよびセットアップパスワードを含む強化されたセキュリティ機能
- 1 システムのコンポーネントおよびデバイスを評価するための診断プログラムシステム診断プログラムの使用方法については、『インストール & トラブルシューティングガイド』の「システム診断プログラムの実行」を参照してください。

それぞれの機能の詳細については、「[仕様](#)」を参照してください。システム機能の詳細を説明するマニュアルの一覧については、「[その他のマニュアル](#)」を参照してください。

サポートされているオペレーティングシステム


- 1 Microsoft® Windows® 2000 Server および Windows Server 2003
- 1 Red Hat Linux 9

パワープロテクションデバイス


電圧変動、停電などの影響からシステムを保護するための装置には次のようなものがあります。

- 1 サージプロテクタ — 雷雨中等に発生する可能性のある電圧スパイクが電源コンセントを介してシステムに侵入するのを防ぎます。サージプロテクタでは、電圧が通常の AC ライン電圧レベルより 20 % 以上低下するような電圧低下からシステムを保護できません。
 - 1 ラインコンディショナ — システムの AC 電源電圧をほぼ一定に保ち、短時間の電圧低下からシステムを保護しますが、完全な停電の場合は保護できません。
 - 1 UPS (無停電電源装置) — AC 電源が使用できない場合に、バッテリーから電力を供給してシステムを動作させ続けます。バッテリーは AC 電源が利用可能な間に充電されます。AC 電力が供給されなくなると、5 分から約 1 時間の限られた時間、バッテリーからシステムに電力が供給されます。バッテリーで 5 分間しか電力を供給できない UPS では、作業中のファイルを保存して、システムを正常にシャットダウンする程度の作業しか行えません。どの UPS もサージプロテクタと一緒に使用してください。UPS が UL の安全基準に合格していることを確認してください。
-

その他のマニュアル

 『システム情報ガイド』では、安全および認可機関に関する情報を説明しています。保証に関する情報は、この『システム情報ガイド』または別のマニュアルに記載されています。

- 1 『ユーザーズガイド』では、システム機能および仕様について説明しています。
- 1 『インストール&トラブルシューティング』では、トラブルシューティング、システム部品の取り付けや交換の方法について説明しています。
- 1 オペレーティングシステムのマニュアルでは、インストール手順(必要がある場合)や設定方法、およびオペレーティングシステムソフトウェアの使い方について説明しています。
- 1 システムとは別に購入したコンポーネントのマニュアルでは、該当するオプション装置の設定や取り付けのため情報について説明しています。
- 1 システム、ソフトウェア、またはマニュアルの変更について説明するアップデート版がシステムに付属していることがあります。

 **メモ:** このアップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合があるので、必ず最初にお読みください。

- 1 リリースノートまたは readme ファイルには、システムまたはマニュアルの最新のアップデート情報や、専門知識をお持ちのユーザーや技術者のための高度な技術情報が含まれている場合があります。
-

テクニカルサポートの利用方法

このガイドで説明する手順が理解できない場合やシステムが思った通りに動作しない場合は、『インストール&トラブルシューティングガイド』を参照してください。

デルでは、企業向けのトレーニングと資格認証を実施しております。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。このサービスは、地域によってはご利用いただけない場合があります。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システムサポート CD の使い方

Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

- [システムサポート CD の起動](#)
- [サーバセットアッププログラムの使い方](#)
- [ドライバとユーティリティのアップデート](#)
- [ユーティリティパーティションの使い方](#)

『System Support CD』には、お使いのシステムの設定に役立つユーティリティ、診断プログラム、ドライバが収録されています。オペレーティングシステムがブリーインストールされていない場合、この CD を使ってオペレーティングシステムのインストールを開始してください。システムのハードドライブ上の起動ユーティリティパーティションには、『System Support CD』と同じ診断機能がいくつか含まれています。

システムサポート CD の起動

システムを設定してオペレーティングシステムをインストールするには、『System Support CD』を挿入して、電源を入れるかシステムを再起動します。Dell OpenManage Server Assistant メイン画面が表示されます。


この CD では、標準のウェブブラウザインターフェースを使用します。したがって各種アイコンやテキストのリンクをマウスでクリックして、CD を操作することができます。

Server Assistant を終了するには、Exit (終了) アイコンをクリックします。サーバセットアッププログラム実行中に Server Assistant を終了すると、システムは標準のオペレーティングシステム起動パーティションから再起動します。

CD が起動しない場合、セットアップユーティリティの Boot Sequence オプションで、CD ドライブが最初に起動するよう指定されているか確認します(「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照)。


サーバセットアッププログラムの使い方

オペレーティングシステムがブリーインストールされていない場合、または後日オペレーティングシステムをインストールする場合、『System Support CD』のサーバセットアッププログラムを使って、システムの設定およびオペレーティングシステムのインストールを行います。

 **メモ:** オペレーティングシステムがブリーインストールされていない場合にのみ、『System Support CD』を使用してください。オペレーティングシステムの『インストール手順』マニュアルを探し、手順に従ってインストールを完了します。

サーバセットアッププログラムを使って次のようなタスクが実行できます。

- 1 システムの日付と時間の設定
- 1 オペレーティングシステムの選択およびインストール、オペレーティングシステムに固有の情報の特定
- 1 ハードドライブの構成
- 1 インストール要約の表示

 **メモ:** オペレーティングシステムをインストールするには、オペレーティングシステムのメディアが必要です。

サーバセットアッププログラムを起動するには、Dell OpenManage Server Assistant メイン画面で、Server Setup (サーバのセットアップ) をクリックします。画面の指示に従います。

ドライバとユーティリティのアップデート

Microsoft® Internet Explorer 4.0 以降、または Netscape Navigator 6.0 以降がインストールされているシステムでは、ドライバとユーティリティをアップデートすることができます。Microsoft Windows® オペレーティングシステムを使用しているシステムの CD ドライブに CD を挿入すると、ブラウザが自動的に起動し、Dell OpenManage Server Assistant メイン画面が表示されます。

ドライバとユーティリティをアップデートするには、次の手順を実行します。

1. Dell OpenManage Server Assistant メイン画面から、ドライバとユーティリティのアップデート用のオプションを選びます。
2. ドロップダウンボックスからシステムのモデル番号を選びます。
3. アップデートするドライバまたはユーティリティのタイプを選びます。
4. Continue(続行)をクリックします。
5. アップデートする各ドライバまたはユーティリティを選びます。

プログラムを実行するか、ファイルを保存する場所を指定するよう指示されます。


6. プログラムを実行するか、ファイルを保存する場所を指定します。
-

ユーティリティパーティションの使い方

ユーティリティパーティションはハードドライブ上の起動パーティションであり、システム設定や診断ユーティリティを含んでいます。ユーティリティパーティションを起動すると、パーティションのユーティリティ用の実行環境が提供されます。

ユーティリティパーティションを起動するには、電源を入れるか、システムを再起動します。電源投入時の自己診断 (POST) 中に、次の画面が表示された後、<F10> を押します。

<F10> = Utility Partition

 **メモ:** ユーティリティパーティションで利用できる MS-DOS® 機能は限られており、汎用の MS-DOS ソフトウェアとして使用することはできません。

ユーティリティパーティションでは、テキストベースのインタフェースによってパーティションのユーティリティを実行します。メニューオプションを選択するには、矢印キーを使ってオプションをハイライト表示してから<Enter>を押すか、またはメニューオプション番号を入力します。ユーティリティパーティションを終了するには、Utility Partition メインメニューから<Esc>を押します。

表 2-1 に、ユーティリティパーティションメニューで表示されるオプションのサンプル一覧とその説明を示します。これらのオプションは、『System Support CD』が CD ドライブに入っていない場合でも使用できます。

表 2-1. ユーティリティパーティションのメインメニューオプション

オプション	説明
システム診断プログラムの実行	システムハードウェアの診断プログラムを実行します。
メモ: 表示されるオプションはシステム設定によって変わるため、この一覧にあるオプションでも表示されない場合があります。	

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

セットアップユーティリティの使い方

Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

- [セットアップユーティリティの起動](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [システムパスワードとセットアップパスワードの機能](#)
- [パスワードを忘れたとき](#)
- [管理タグ設定ユーティリティ](#)

セットアップユーティリティを実行して、お使いのシステムとオプションの設定についてよく理解してください。将来の参照用に、<Print Screen> を押してセットアップ画面を印刷するか、表示された情報を記録します。

セットアップユーティリティは、次のような場合に使用できます。

- 1 ハードウェアを追加、変更、または削除した後に、NVRAM に保存されたシステム設定を変更する
- 1 時間や日付などのユーザーが選択可能なオプションを設定または変更する
- 1 内蔵デバイスを有効または無効にする
- 1 取り付けたハードウェアと設定との間の不一致を修正する

セットアップユーティリティの起動

- 1 システムの電源を入れるか、再起動します。
- 2 次のメッセージが表示されたら、ただちに <F2> を押します。


<F2> = System Setup

<F2> を押す前にオペレーティングシステムのロードが開始された場合は、システムの起動が完了するのを待ってから、もう一度システムを再起動させて、この手順を実行してください。

 **メモ:** システムの正しいシャットダウンの方法については、オペレーティングシステム同梱のマニュアルを参照して確認してください。

エラーメッセージへの対応

特定のエラーメッセージに対応することによって、セットアップユーティリティを起動できます。システムの起動中にエラーメッセージが表示された場合、メッセージをメモしてください。セットアップユーティリティを起動する前に、『インストール&トラブルシューティングガイド』の「システムビープコード」および「システムメッセージ」を参照して、メッセージの意味やエラーの修正方法を調べてください。

 **メモ:** メモリのアップグレード後、最初にシステムを起動する際に、システムメッセージが表示されるのは正常です。

セットアップユーティリティの使い方

[表 3-1](#) に、セットアップユーティリティ画面で情報の表示や変更、プログラムの終了などに使用するキーの一覧を示します。

表 3-1. セットアップユーティリティの操作キー

キー	動作
----	----

上矢印または <Shift><Tab>	前のフィールドに移動する。
下矢印または <Tab>	次のフィールドへ移動する。
スペースキー、<+>、<->、および左右矢印	フィールドの設定内容を循環する。多くのフィールドでは、適切な値を入力することもできます。
<Esc>	設定を変更した場合に、セットアップユーティリティを終了してシステムを再起動する。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示する。

メモ: ほとんどのオプションでは、変更内容は自動的に記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

セットアップユーティリティのオプション

Main 画面

セットアップユーティリティを起動すると、セットアップユーティリティのメイン画面が表示されます (図 3-1 を参照)。

図 3-1. メインセットアップユーティリティ画面

```

Dell - PowerEdge 4003C
-----
Intel® XXXX Processor          BIOS Version: XXXX
Processor Speed: XXXX GHz      Service Tag : XXXXXX

System Time ..... 08:15:45
System Date ..... Mon March 31, 2003

Drive Configuration ..... <ENTER>
Boot Sequence ..... <ENTER>

Memory Information ..... <ENTER>
CPU Information ..... <ENTER>

Integrated Devices <LegacySelect Options> ..... <ENTER>
Power Management ..... <ENTER>
System Security ..... <ENTER>

Keyboard NumLock ..... On
Report Keyboard Errors ..... Report

Auto Power On ..... Disabled
Remote Wake Up ..... Off
Fast Boot ..... On
OS Install Mode ..... Off
IDE Hard Drive Acoustics Mode ..... Bypass

System Event Log ..... <ENTER>
Asset Tag ..... XXXXXX

Up,Down Arrow to select | SPACE,+,- to change | ESC to exit | F1=HELP

```

表 3-2 に、セットアップユーティリティのメイン画面に表示される情報フィールドのオプションの一覧および説明を示します。

メモ: 該当する場合、セットアップユーティリティのデフォルト設定をそれぞれのオプションの下に示します。

表 3-2. セットアップユーティリティのオプション

オプション	説明
System Time	システム内蔵時計の時刻をリセットします。
System Date	システム内蔵カレンダーの日付をリセットします。
Drive Configuration	システムの全ドライブについて以下の設定を行うための画面を表示します。ディスクドライブを有効または無効にする。プライマリおよびセカンドドライブのドライブタイプとドライブジオメトリ情報を設定する。内蔵 IDE および SATA (実装時) ハードドライブインタフェースの DMA 転送を有効または無効にする。
Boot Sequence	システム起動時にシステムが起動デバイスを検索する順番を決定します。利用可能なオプションは、ディスクドライブ、CD ドライブ、ハードドライブ、およびネットワークです。
Memory Information	実装されたシステムメモリの容量と処理速度を表示します。このオプションには、ユーザーが選択できる設定はありません。
CPU Information	処理速度、キャッシュサイズなどのプロセッサに関する情報を表示します。処理速度に敏感なソフトウェアを正常に実行できるように、システム起動後のプロセッサの処理速度を遅く設定することもできます。また、プロセッサが対応している場合は、ハイパースレディング処理を有効にできます。

Integrated Devices	「 Integrated Devices 画面 」を参照してください。
Power Management	サスペンドモード (S1 または S3)、AC 電源復帰、低電力モードを含むシステムの電源管理機能を設定するための画面を表示します。
System Security	パスワード、POST ホットキー、シャシーントルーゼーション、および ブートインテグリティサービス (BIS) を含むシステムのセキュリティ機能を設定するための画面を表示します。パスワード設定の詳細については、「 システムパスワードとセットアップパスワードの機能 」を参照してください。
Keyboard NumLock	101 または 102 キーのキーボードで(84 キーのキーボードには適用されません)、NumLock モードが有効な状態でシステムを起動するかどうかを決定します。
Report Keyboard Errors	POST 中のキーボードエラーの報告を有効または無効にします。キーボードが取り付けられたホストシステムでは、このオプションを有効にします。Do Not Report を選ぶと、POST 中に検出されたキーボードまたはキーボードコントローラに関連するすべてのエラーメッセージが省略されます。キーボードがシステムに取り付けられている場合、この設定はキーボード自体の操作に対する影響はありません。
Auto Power On(デフォルトは Disabled)	システムの自動電源投入機能を設定する画面を表示します。システムを自動的に起動する曜日と時刻などが設定できます。選べるのは、毎日または月曜日から金曜日です。 時間は 24 時間形式(時間:分)で表示されます。左右の矢印キーを押して、数値を増減するか、日付と時間のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時間を変更します。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでシステムの電源を切った場合には動作しません。
Remote Wake Up	On に設定すると、リモートウェークアップ機能のある NIC または モデムがウェークアップ信号を受信するとシステムが起動します。On w/Boot to NIC に設定すると、システムは起動手順を実行する前にネットワークからの起動を試みます。 通常、システムはサスペンド、休止、オフの各状態からリモートで起動できます。電源の管理ウィンドウで低電力モードを有効にした場合、リモートでシステムを起動できるのはサスペンド状態からのみです。
Fast Boot (デフォルトは On)	可能な場合にオペレーティングシステムをクイック起動させるときに指定します。On に設定すると、いくつかの設定やテストをスキップして、システムは 10 秒以内に起動します。Off に設定すると、これらの設定やテストはスキップされません。
OS Install Mode(デフォルトは Off)	オペレーティングシステムが利用可能なメモリの最大容量を指定します。On は最大容量を 256 MB に設定します。Off に設定すると、すべてのシステムメモリをオペレーティングシステムに利用できるようになります。オペレーティングシステムによっては、2 GB 以上のシステムメモリがインストールできないものもあります。このオプションは、オペレーティングシステムのインストール中に有効にし (On)、インストールが終了したら無効にします (Off)。
IDE Hard Drive AcousticsMode	ハードドライブのアコースティックモードを設定します。Bypass に設定すると、システムはこのモードのテストや変更を行いません。Quiet に設定すると、ドライブは最も静かな設定で動作します。Suggested に設定すると、ドライブはメーカーの推奨値 (Quiet と Performance モードの間) で動作します。Performance に設定すると、ドライブは通常の動作を行います。 メモ: Performance 以外の設定は、ドライブ性能が低下する原因 になります。
System Event Log	システムイベントログ画面を表示して、システムの状態を確認したり、ログをクリアすることができます。
Asset Tag	管理タグ (Asset Tag) が割り当てられている場合、ユーザーがプログラム可能なシステムの管理タグを表示します。10 文字までの管理タグを NVRAM に割り当てる方法については、「 管理タグ設定ユーティリティ 」を参照してください。

Integrated Devices 画面

表 3-3 に、Integrated Devices 画面に表示される情報フィールドのオプションの一覧および説明を示します。

表 3-3. Integrated Devices 画面オプション

オプション	説明
Network Interface Controller	システムの内蔵ネットワークインタフェースコントローラ (NIC) を有効または無効にします。オプションは、On、On w/PXE、および Off です。PXE をサポートしている場合は、ネットワークからシステムを起動できます。変更はシステムの再起動後に有効になります。
Mouse Port(デフォルトは On)	オンボード PS/2 互換マウスポートを On または Off に設定します。
USB Emulation (デフォルトは On)	USB を直接サポートしていないオペレーティングシステムで USB デバイスを使用可能にできます。オプションは、On、Off、および No Boot です。No Boot に設定すると、USB エミュレーションは続行しますが、起動デバイスは無効になります。 メモ: 正しくエミュレーションを行うには、USB コントローラを On に設定する必要があります。
USB Controller(デフォルトは On)	システムの USB ポートを有効または無効にします。オプションは On および Off です。USB ポートを無効にするとその他のデバイスがシステムリソースを利用できるようになります。
Serial Port 1 および Serial Port2 (デフォルトは Auto)	シリアルポート 1 のオプションは、COM1、COM3、Auto、および Off です。 シリアルポート 2 のオプションは、COM2、COM4、Auto、および Off です。 シリアルポート 1 または 2 を Auto に設定すると、内蔵ポートは自動的に次に利用できるポートにマップされます。シリアルポート 1 では、最初に COM1 を、次に COM3 の使用を試みます。シリアルポート 2 では、最初に COM2 を、次に COM4 の使用を試みます。特定のポートに対してどちらのアドレスも使用中の場合、そのポートは無効です。 シリアルポートを Auto に設定し、同じ指定先に設定されたポートを搭載した拡張カードを追加した場合、内蔵ポートは同じ IRQ 設定を共有する次の利用可能なポートを指定するように自動的に再マップされます。
Parallel Port	システムのバラレルポートの設定を行うための画面を表示します。
Diskette Interface (デフォルトは Auto)	システムのディスクドライブコントローラを有効または無効にします。Auto を選択すると、拡張スロットに取り付けたコントローラカードを使用する必要がある場合、システムはこのコントローラをオフにします。ドライブを読み取り専用を設定することもできます。読

	み取り専用設定を使うと、ドライブを使用してディスクに書き込むことができなくなります。
PC Speaker(デフォルトはOn)	内蔵スピーカーを On または Off に設定します。このオプションへの変更はただちに有効になります(再起動の必要はありません)。
Primary Video Controller(デフォルトはAuto)	システム起動時に使用するビデオコントローラを指定します。

System Security 画面

表 3-4 に、System Security 画面に表示される情報フィールドのオプションの一覧および説明を示します。

表 3-4. System Security 画面オプション

オプション	説明
Password Status	<p>Setup Password オプションを Enabled に設定すると、システム起動時にシステムパスワードを変更したり、無効にすることはできません。</p> <p>システムパスワードをロックするには、まず Setup Password オプションでセットアップパスワードを設定し、次に Password Status オプションを Locked に変更します。この状態では、System Password オプションを使ってシステムパスワードを変更したり、<Ctrl><Enter> を押してシステム起動時にパスワードを無効にすることはできません。</p> <p>システムパスワードのロックを解除するには、まず Setup Password フィールドでセットアップパスワードを入力し、次に Password Status オプションを Unlocked に変更します。この状態では、<Ctrl><Enter> を押してシステム起動時にシステムパスワードを無効にしたり、System Password オプションを使ってシステムパスワードを変更することができます。</p>
System Password	<p>システムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態を表示して、新しいシステムパスワードを設定して確認することができます。</p> <p>メモ: システムパスワードの設定、および既存のシステムパスワードの使用または変更に関する手順については、「システムパスワード」を参照してください。</p>
Setup Password	<p>システムパスワード機能を使ってシステムへのアクセスを制限するのと同じ要領で、セットアップユーティリティへのアクセスを制限できます。</p> <p>メモ: セットアップパスワードの設定、および既存のセットアップパスワードの使用または変更に関する手順については、「セットアップパスワード」を参照してください。</p>
Post Hotkeys	POST 実行中に画面に表示される使用するホットキーを指定します (<F2> または <F12>)。
Chassis Intrusion	シャーシイントルージョンディテクタ機能を有効または無効にします。このオプションが Enabled-Silent に設定されている場合、シャーシイントルージョンは検出されますが、システム起動時に警告メッセージは報告されません。Enabled に設定すると、シャーシカバーが取り外された場合、このフィールドに DETECTED と表示されます。いずれかの編集キーを押すと、この報告を確認して、今後のシャーシへの侵入検出機能が有効になります。
PXE BIS Default Policy	証明がインストールされていない場合のブートインテグリティサービス (BIS) の認証要求に対するシステムの対応方法を指定します。Deny に設定すると、BIS の認証要求は拒否されます。Accept に設定すると、認証要求は受け入れられます。Reset に設定すると、BIS が再初期化されて、次の起動時には Deny に設定されます。

Exit 画面

<Esc> を押してセットアップユーティリティを終了すると、Exit 画面に次のオプションが表示されます。

- 1 Save Changes and Exit (変更を保存して終了)
- 1 Discard Changes and Exit (変更を保存せずに終了)
- 1 Return to Setup (セットアップへ戻る)

システムパスワードとセットアップパスワードの機能

- ➡ **注意:** パスワードはシステム内のデータに対してセキュリティを提供しますが、絶対に安全というわけではありません。より強固なセキュリティが必要なデータについては、データ暗号化プログラムなどの保護機能をご自身で用意してください。

システムパスワード

- ➡ **注意:** システムパスワードを設定せずに稼働中のシステムから離れたり、システムをロックせずに放置した場合には、第三者がジャンパ設定を変更し、システムパスワード機能を解除することができます。この結果、誰でもハードドライブ内のデータにアクセスできるようになります。

オプション設定

次の 2 つのオプションのいずれかが表示されている場合、システムパスワードの変更や新しいパスワードの入力はできません。

1. **Enabled** — システムパスワードが設定されています。
1. **Disabled** — システム基板のジャンパ設定によって、システムパスワードが無効になっています。

次のオプションが表示されている場合にのみ、システムパスワードを設定できます。

1. **Not Enabled** — システムパスワードが設定されていない状態で、システム基板のパスワードジャンパが有効 (デフォルト) に設定されています。

システムパスワードの設定

システムパスワードの入力を途中で中止したい場合は、<Tab> または <Shift> <Tab> を同時に押して、別のフィールドに移動するか、手順 5 を完了する前に <Esc> を押します。

1. セットアップユーティリティを起動して ([「セットアップユーティリティの起動」](#)を参照)、**Password Status** が **Unlocked** に設定されていることを確認します。
2. **System Password**をハイライト表示にしてから、左または右の矢印キーを押します。

オプション名が **Enter Password** に変わり、その後 32 文字分の空のフィールドが表示されます。

3. このフィールドに新しいシステムパスワードを入力します。

半角の英数字で 32 文字まで入力できます。入力したパスワードを訂正するには、<バックスペース> または左矢印キーを押して文字を消去します。パスワードは、大文字と小文字を区別しません。

キーの組み合わせによっては無効なものがあります。無効な組み合わせを入力すると、システムが警告音を発します。

各文字キー (またはブランクスペースとしてスペースキー) を押すたびに、フィールドにはプレースホルダ「*」が表示されます。

4. <Enter> を押します。

新しいシステムパスワードが 32 文字未満の場合、フィールド全部に「*」が挿入されます。次に、オプション名が **Verify Password** に変わり、その後 32 文字分の別の空のフィールドが表示されます。

5. パスワードを確認するために、もう一度同じパスワードを入力して、<Enter> を押します。

パスワード設定が **Enabled** に変わります。

6. セットアップユーティリティを終了します。

コンピュータを再起動すると、パスワード保護機能が有効になります。

システムパスワードの入力

システムを起動または再起動すると、以下のプロンプトの 1 つが画面に表示されます。

Password Status が **Unlocked** に設定されている場合

Type in the password and
- press <ENTER> to leave password security enabled.
- press <CTRL><ENTER> to disable password security.
Enter password: (パスワードを入力して、<ENTER> を押し、パスワードセキュリティは有効なままです。<CTRL><ENTER> を押し、パスワードセキュリティは無効になります。パスワードを入力してください。)

Password Status が Locked に設定されている場合

Type the password and press <Enter>.
(パスワードを入力して、<Enter> を押ししてください。)

セットアップパスワードが設定されている場合、システムはセットアップパスワードをシステムパスワードの代用として受け入れます。

入力したシステムパスワードが間違っていると、次のメッセージが表示されます。

```
** Incorrect password. (誤ったパスワード。) **
```

入力したシステムパスワードが 2 回目間違っていると、同じメッセージが表示されます。システムパスワードを 3 回間違えると、それ以降は以下のメッセージが表示されます。

```
** Incorrect password. **  
Number of unsuccessful password attempts: 3  
System halted!Must power down.  
(誤ったパスワード。間違ったパスワード入力の回数: 3 システムが停止しました! 電源を切ってください。)
```

コンピュータの電源を入れ直した後も、再び誤ったシステムパスワードや不完全なシステムパスワードを入力するたびに、上記のメッセージが表示されます。

既存のシステムパスワードの取り消しと変更

1. セットアップユーティリティを起動して ([「セットアップユーティリティの起動」](#)を参照)、Password Status が Unlocked に設定されていることを確認します。
2. システムを再起動します。
3. プロンプトが表示されたら、システムパスワードを入力します。
4. <Ctrl><Enter> を押し、既存のシステムパスワードを無効にします。
5. System Password オプションに Not Enabled と表示されていることを確認します。

Not Enabled と表示されたら、システムパスワードは取り消されています。Not Enabled が表示されていない場合、<Alt> を押し、コンピュータを再起動し、手順 3 ~ 5 を繰り返します。

新しいパスワードを設定するには、[「システムパスワードの設定」](#)の手順に従ってください。

6. セットアップユーティリティを終了します。

セットアップパスワード

オプション設定

- 1. **Enabled** — セットアップパスワードの設定ができません。システムの設定を変更するには、セットアップパスワードを入力する必要があります。
- 1. **Not Enabled** — セットアップパスワードの設定ができます。パスワード機能は有効ですが、パスワードが設定されていません。

セットアップパスワードの設定

セットアップ パスワードはシステム パスワードと同じにすることもできます。

1. セットアップユーティリティを起動して ([「セットアップユーティリティの起動」](#)を参照)、Setup Password が **Not Enabled** に設定されていることを確認します。
2. **Setup Password**をハイライト表示にし、左または右の矢印キーを押します。

パスワードの入力と確認のプロンプトが表示されます。パスワードに使用できない文字の場合、ビープ音が鳴ります。

3. パスワードを入力して、確認のためもう一度入力します。

パスワードの確認が終わると、Setup Password の設定は **Enabled** に変わります。次回以降、セットアップユーティリティを起動する際にセットアップパスワードの入力を求められます。

4. セットアップユーティリティを終了します。

Setup Passwordへの変更は、ただちに有効になります (コンピュータを再起動する必要はありません)。

セットアップパスワードが有効な場合のシステムの操作

セットアップユーティリティを起動すると、Setup Passwordオプションがハイライト表示され、パスワードの入力を求められます。

正しいパスワードを入力しないと、セットアップユーティリティ画面は表示されますが、セットアップユーティリティのオプションを変更することはできません。

既存のセットアップ パスワードの取り消しと変更

既存のセットアップパスワードを変更するには、そのパスワードを知っている必要があります。

1. セットアップユーティリティを起動します ([「セットアップユーティリティの起動」](#)を参照)。
2. プロンプトでセットアップパスワードを入力します。
3. **Setup Password**をハイライト表示にしてから、左または右の矢印キーを押し、現在のセットアップパスワードを取り消します。

設定が **Not Enabled** に変わります。

新しいセットアップパスワードを設定するには、[「システムパスワードの設定」](#)の手順を実行します。


4. セットアップユーティリティを終了します。

パスワードを忘れたとき

『インストール&トラブルシューティングガイド』を参照してください。

管理タグ設定ユーティリティ

管理タグ設定ユーティリティを使って、固有のトラッキング番号をシステムに割り当てることができます。この番号は、セットアップユーティリティのメイン画面に表示されます。

 **メモ:** 管理タグ設定ユーティリティは、MSDOS® ベースのアプリケーションをサポートするオペレーティングシステムでのみ機能します。

管理タグ設定ユーティリティディスクの作成

1. Microsoft® Windows® オペレーティングシステムを実行中のシステムの CD ドライブに『System Support CD』を挿入します。
2. 空のディスクをシステムのディスクドライブに挿入します。
3. 管理タグを作成するシステムを選択して、Continue (続行) をクリックします。
4. Utilities and Drivers ページで Dell:Bootable Diskette with Asset Tag Utility を選択します。
5. 管理タグ設定ユーティリティをハードドライブに保存してから、このユーティリティを実行して起動ディスクを作成します。
6. 管理タグを割り当てるシステムに起動ディスクを挿入して、システムを再 起動します。

管理タグ番号の割り当てまたは削除

1. 作成した管理タグ設定ユーティリティディスクをディスクドライブに 挿入し、システムを再起動します。
2. 管理タグ番号は、割り当てることも削除することもできます。
 - 1 管理タグ番号を割り当てるには、asset とスペースを入力し、その後に新しいストリングを入力します。

管理タグ番号は最大で 10 文字です。すべての文字の組み合わせが有効です。たとえば、a:\> プロンプトで、次のコマンドを入力し、<Enter> を押します。

```
asset 12345abcde
```

- 1 新しい番号を割り当てずに管理タグ番号を削除するには、asset /d と入力して、<Enter> を押します。
 - 1 管理タグ番号の変更を確認するよう指示されたら、y と入力し、<Enter> を押 します。

管理タグ設定ユーティリティのヘルプ画面を表示するには、asset /? と入力し、<Enter> を押します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

用語集

Dell™ PowerEdge™ 400SC システム ユーザーズガイド

以下は、このマニュアルで使用されている略語、頭字語、技術用語の説明です。

A アンペア (Ampere) の略語。
AC 交流電流 (Alternating Current) の略語。
ACPI Advanced Configuration and Power Interface の略語。パワーマネジメントのための規約です。
AGP Advanced Graphics Port の略語。ビデオカードとメインメモリ間の専用バスの規格です。
ANSI 米国規格協会 (American National Standards Institute) の頭字語。
ARI アナログラックインタフェース (Analog Rack Interface) の略語。
ASCII 情報交換用米国標準コード (American Standard Code for Information Interchange) の頭字語。
BIOS 基本入出力システム (Basic Input/Output System) の頭字語。コンピュータの BIOS は、フラッシュメモリチップに格納された複数のプログラムからなります。BIOS は、次の事項を制御します。 <ul style="list-style-type: none">1 プロセッサと周辺デバイス間の通信1 システム メッセージなどの各種機能
BTU 英国熱量単位 (British Thermal Unit) の略語。
C 摂氏 (Celsius) の略語。

CD

コンパクトディスク (Compact Disc) の略語。CDドライブは、光学的にCD上のデータを読み取ります。

COMn

コンピュータのシリアルポートに対するデバイス名 (n は整数値)。

CPU

中央演算処理装置 (Central Processing Unit) の略語。「プロセッサ」も参照してください。

DC

直流電流 (Direct Current) の略語。

DDR

Double-Data Rate の略語。通常の倍の転送速度を持つデータ転送機能です。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略語。インターネットに一時的に接続するコンピュータに、必要な情報を自動的に割り当てるための規約です。

DIMM

デュアルインラインメモリモジュール (Dual In-line Memory Module) の頭字語。「メモリモジュール」も参照してください。

DIN

ドイツ工業規格 (Deutsche Industrie Norm) の頭字語。

DMA

ダイレクトメモリアクセス (Direct Memory Access) の略語。DMAチャンネルにより、特定のタイプのデータは、プロセッサを経由せずに、RAMとデバイスとの間で直接転送されます。

DMI

Desktop Management Interface の略語。DMIを使えば、オペレーティングシステム、メモリ、周辺機器、拡張カード、管理タグなどのシステムコンポーネントに関する情報を集めて、コンピュータシステムのソフトウェアとハードウェアを統合して管理できます。

DNS

ドメインネームシステム (Domain Name System) の略語。インターネット上のホスト名とIPアドレスを対応させるシステムです。

DRAM

ダイナミックランダムアクセスメモリ (Dynamic Random-Access Memory) の略語。通常、コンピュータのRAMはDRAMチップだけで構成されます。

DVD

Digital Versatile Disc の略語。

ECC

エラー検出／訂正 (Error Checking and Correction) の略語。

EEPROM

Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory (電氣的に消去とプログラミングが可能な ROM) の略語。

EMC

電磁的両立性 (Electromagnetic Compatibility) の略語。

EMI

電磁干渉 (Electromagnetic interference) の略語。

ERA

Embedded Remote Access の略語。ERA により、リモートアクセスコントローラを使ってネットワークサーバをリモート管理することができます。

ESD

静電気放電 (ElectroStatic Discharge) の略語。

F

華氏 (Fahrenheit) の略語。

FAT

ファイルアロケーションテーブル (File Allocation Table) の頭字語。FAT はファイル保存記録を管理するために MS-DOS で使用されるファイルシステム構造です。Microsoft® Windows® オペレーティングシステムでは、オプションとして FAT ファイルシステムを使用することができます。

FSB

フロントサイドバス (Front-Side Bus) の略語。FSB はプロセッサとメインメモリ (RAM) 間のデータ伝送路および物理インタフェースです。

ft

フィート (feet) の略語。1 ft = 30.48 cm。

FTP

ファイル転送プロトコル (File Transfer Protocol) の略語。

g

グラム (gram) の略語。

G

重力加速度 (Gravity) の略語。

Gb

ギガビット (gigabit) の略語。1 Gb = 1024 Mb = 1,073,741,824 ビット。

GB

ギガバイト (gigabyte) の略語。1 GB = 1024 MB = 1,073,741,824 バイト。ただし、ハードドライブの容量を表す場合は、1000 MB (10 億バイト) を意味することもあります。

H

16 進 (hexadecimal) の略語。16 進法は 16 を基数にした記数法で、コンピュータの RAM アドレスやデバイスの I/O メモリアドレスを指定するためによく使用されます。一般に 16 進数の後には h を付けて表記します。

Hz

ヘルツ (Hertz) の略語。

I/O

入出力 (Input/Output) の略語。キーボードは入力デバイスで、プリンタは出力デバイスです。一般に、I/O 処理は計算処理とは区別されます。

ID

識別 (Identification) の略語。

IDE

Integrated Drive Electronics の略語。

IP

インターネットプロトコル (Internet Protocol) の略語。

IPX

ネットワーク間パケット交換 (Internetwork Packet eXchange) の略語。

IRQ

割り込み要求 (Interrupt Request) の略語。周辺機器がデータを送信または受信しようとする場合、必要な処理をプロセッサに要求する信号が IRQ 信号線を介して送られます。コンピュータに接続する各周辺機器には IRQ 番号を割り当てる必要があります。2 つの機器が同じ IRQ 番号を共有することはできますが、両方の機器を同時に動作させることはできません。

K

1000 を表すキロ (kilo) の略語。

KB

キロバイト (kilobyte) の略語。1 KB = 1024 バイト。

Kb

キロビット (kilobit) の略語。1 Kb = 1024 ビット。

Kbps

1 秒あたりのキロビット数 (kilobits per second) の略語。

KBps

1 秒あたりのキロバイト数 (kilobytes per second) の略語。

kg

キログラム (kilogram) の略語。1 kg = 1000 グラム。

KMM

キーボード/モニタ/マウス (Keyboard/Monitor/Mouse) の略語。

KVM

キーボード/ビデオ/マウス (Keyboard/Video/Mouse) の略語。KVM は、コンピュータ切り替え器です。一組のキーボード、モニタ、マウスで、複数のコンピュータを即時切り替えて使用することができます。

LAN

ローカルエリアネットワーク (Local Area Network) の頭字語。通常、LAN のシステム構成は同じ建物内部または隣接した少数の建物に限定され、すべての装置が LAN 専用ケーブルで接続されます。

lb

ポンド (pound) の略語。1 lb = 453.6 グラム。

LCD

液晶ディスプレイ (Liquid Crystal Display) の略語。

LED

発光ダイオード (Light-Emitting Diode) の略語。LED は、電流が流れると点灯する電子装置です。

Linux

さまざまなハードウェアシステムで実行可能な UNIX® 互換のオペレーティングシステム。Linux はソースコードが公開されているソフトウェアで、無償で入手できます。ただし、Red Hat Software 社などで、Linux ソフトウェアの配布パッケージとともに、テクニカルサポートとトレーニングを有償で提供しています。

m

メートル (meter) の略語。

MA

ミリアンペア (milliampere) の略語。

MAC

メディアアクセス制御(Media Access Control) の頭字語。

Mb

メガビット (megabit) の略語。1 Mb = 1,048,576 ビット。

MB

メガバイト (megabyte) の略語。1 MB = 1,048,576 バイト。ただし、ハードドライブの容量を表す場合は、1 MB = 1,000,000 バイトを意味することもあります。

Mbps

1秒あたりのメガビット数 (megabits per second) の略語。

MBps

1秒あたりのメガバイト数 (megabytes per second) の略語。

MBR

マスタブートレコード (Master Boot Record) の略語。

MHz

メガヘルツ (megahertz) の略語。

mm

ミリメートル (millimeter) の略語。

ms

ミリ秒 (millisecond) の略語。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating System の略語。

NAS

ネットワーク接続ストレージ (Network Attached Storage) の頭字語。NAS は、ネットワーク上に共有ストレージ (データ保管装置) を実現するための概念です。NAS システムは、ファイルサーバ専用に最適化されたオペレーティングシステム、内蔵ハードウェア、およびソフトウェアを搭載しています。

NIC

ネットワークインタフェースコントローラ (Network Interface Controller) の頭字語。「ネットワークカード」ともいいます。

NMI

マスク不能割り込み (Nonmaskable Interrupt) の略語。デバイスは NMI を送信して、ハードウェアエラーをプロセッサに知らせます。

NTFS

NT ファイルシステム (NT File System) の略語。Windows 2000 オペレーティングシステムではオプションのファイルシステムです。

NVRAM

不揮発性ランダムアクセスメモリ (Nonvolatile Random-Access Memory) の略語。コンピュータの電源を切っても情報が失われないメモリです。NVRAM は、日付、時刻、システム設定情報の保持に使用されています。

PCI

Peripheral Component Interconnect の略語。PCI は標準のローカルバス規格です。

PDU

配電ユニット (Power Distribution Unit) の略語。PDU は、複数のコンセントを持つ電源装置で、ラック内のサーバやストレージシステムに電力を供給します。

PGA

Pin Grid Array の略語。プロセッサチップの取り外しが可能なプロセッサソケットです。

POST

電源投入時の自己診断 (Power-On Self-Test) の頭字語。コンピュータの電源を入れると、オペレーティングシステムがロードされる前に、RAM、ディスクドライブ、キーボードなどのさまざまなシステムコンポーネントがテストされます。

PS/2

Personal System/2 の略語。コンピュータの製品名ですが、コネクタの規格としても使用します。

PXE

プリブート実行環境 (Preboot eXecution Environment) の略語。

RAC

リモートアクセスコントローラ (Remote Access Controller) の頭字語。

RAID

Redundant Array of Independent Disks の頭字語。RAID はデータ冗長化により、読み書きの速度や信頼性の向上を実現する技術です。普及している RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、RAID 50 があります。「ガーディング」、「ミラーリング」、「ストライピング」も参照してください。

RAM

ランダムアクセスメモリ (Random-Access Memory) の頭字語。RAM はコンピュータのメインメモリとしてプログラムの命令やデータを一時的に保存します。コンピュータの電源を切ると、RAM に保存されている情報はすべて失われます。

RAS

リモートアクセスサービス (Remote Access Service) の頭字語。この機能によって、Windows オペレーティングシステムを実行しているコンピュータのユーザーは、モデムを使って、ネットワークにリモートでアクセスできます。

readme ファイル

ソフトウェアやハードウェアの製品に付属しているテキストファイル。製品に関する補足情報やマニュアルのアップデートが入っています。

ROM

読み取り専用メモリ (Read-Only Memory) の頭字語。コンピュータのプログラムの中には、ROM コードで実行しなければならないものがあります。RAM とは異なり、コンピュータの電源を切っても、ROM チップの内容は保持されます。ROM コードの例は、コンピュータの起動ルーチンと POST を起動するプログラムです。

ROMB

マザーボード上の RAID (RAID on Motherboard) の略語。

rpm

1分あたりの回転数 (revolutions per minute) の略語。

SATA

シリアル ATA (Serial Advanced Technology Attachment) の略語。ハードドライブなどの記憶装置を接続するための規格です。

SCSI

小型コンピュータシステムインタフェース (Small Computer System Interface) の頭字語。標準のポートよりも速いデータ転送レートを持つ I/O バスインタフェース。

SDRAM

シンクロナス DRAM (Synchronous Dynamic Random-Access Memory) の略語。

sec

秒 (Second) の略語。

SMART

Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology の頭字語。ハードドライブにエラーや障害があった場合に、システム BIOS に報告し、画面にエラーメッセージを表示するための技術です。この技術を利用するには、SMART 対応のハードドライブとシステム BIOS が必要です。

SMP

対称型マルチプロセッシング (Symmetric MultiProcessing) の略語SMPは、高バンド幅のリンクを介して複数のプロセッサを接続し、各プロセッサが同等な立場で I/O 処理を行うようにオペレーティングシステムによって管理する技法です。

SNMP

Simple Network Management Protocol の略語。SNMPは、ネットワーク管理者がリモートでワークステーションの監視および管理を行うための業界標準のインタフェースです。

SVGA

Super Video Graphics Array の略語。VGA と SVGA は、従来の規格よりも高解像度の色表示機能を持つビデオアダプタに関するビデオ規格です。

system.ini ファイル

Windows オペレーティングシステム用の起動ファイル。Windows を起動すると、system.ini が参照されて、Windows 動作環境の各種オプションが設定されます。system.ini ファイルに記録されている情報には、Windows にインストールされているビデオ、マウス、キーボード用のドライバなどが含まれます。

UL

Underwriters Laboratories の略語。電気製品の安全性に関する規格です。

UNIX

UNiversal Internet eXchange の頭字語。UNIX は、Linux の基になったオペレーティングシステムで、C 言語で書かれています。

UPS

無停電電源装置 (Uninterruptible Power Supply) の略語。停電が発生するとコンピュータに自動的に電力を供給するバッテリー内蔵の電源装置のことです。

USB

Universal Serial Bus の略語。USB コネクタは、マウス、キーボードなど、USB 準拠の複数のデバイスに対応しています。USB デバイスはシステムの実行中でも取り付け、取り外しが可能です。

UTP

Unshielded Twisted Pair の略語。シールドされていないツイストペア (より対線) ケーブルです。

V

ボルト (Volt) の略語。

VAC

交流電圧 (Volt Alternating Current) の略語。

VDC

直流電圧 (Volt Direct Current) の略語。

VGA

Video Graphics Array の略語。VGA と SVGA は、従来の規格よりも高解像度の色表示機能を持つビデオアダプタに関する画像の規格です。

W

ワット (Watt) の略語。

WH

ワット時 (Watt-hour) の略語。

win.iniファイル

Windows オペレーティングシステム用の起動ファイル。Windows を起動すると、win.ini ファイルが参照されて、Windows の操作環境に関する各種オプションが設定されます。また、win.ini ファイルには、ハードドライブにインストールされている Windows アプリケーションプログラムのオプション設定を記述したセクションも含まれています。

Windows 2000

MS-DOS を必要としない完成された総合オペレーティングシステム。パフォーマンスと使いやすさに優れ、拡張されたワークグループ機能でファイルの参照や管理が簡単に行えます。

Windows Powered

NAS システム上で使用するために設計された Windows オペレーティングシステム。NAS システムの場合、Windows Powered オペレーティングシステムは、ネットワーククライアントのファイルサービスに特化しています。

Windows Server 2003

XML Web サービスを利用して、ソフトウェアの統合を図る Microsoft のソフトウェアテクノロジー。XML Web サービスは、ネットワーク経由でデータを送受信するための XML 言語を使って別々に開発された再利用可能な小型のアプリケーション群です。

XML

eXtensible Markup Language の略語。XML は、インターネット、イントラネット、その他のネットワークで共通の情報形式を作成し、形式とデータの両方を共有するための仕様です。

アップリンクポート

別のハブまたはスイッチに接続する際に使用するネットワークハブまたはスイッチ上のポート。クロスオーバーケーブルを必要としません。

アプリケーション

ユーザーが特定のタスクまたは一連のタスクを実行するのを助けるソフトウェア。アプリケーションは、オペレーティングシステムの機能を利用して実行されます。

ガーディング

複数の物理ドライブを一組にしてデータを格納し、さらにもう 1 台のドライブにパリティデータを格納するデータ冗長化の手法。「ミラーリング」、「ストライピング」、「RAID」も参照してください。

キーの組み合わせ

複数のキーを同時に押すコマンド。たとえば、システムの再起動に使用する<Ctrl><Alt>< Del> のキーの組み合わせがこれに当たります。

キャッシュ

データを高速に検索できるように、データまたは命令のコピーを保持するための高速記憶領域。プログラムがディスクドライブ内にあるデータを要求すると、ディスクキャッシュユーティリティによって、ディスクドライブよりも高速な RAM 内のキャッシュ領域にコピーされた同じデータが読み取られます。

グラフィックモード

横方向のピクセル数 (x) × 縦方向のピクセル数 (y) × 色数 (z) で定義される画面の状態です。

グループ

DMI 関連では、グループは管理可能なコンポーネントについて共通の情報または属性を定義するデータ構造。

コプロセッサ

コンピュータのプロセッサを特定の処理タスクから解放するためのチップ。たとえば、数値演算コプロセッサは数値演算処理を行います。

コントローラ

プロセッサとメモリ間、またはプロセッサと周辺機器間のデータ転送を制御するチップ。

コントロールパネル

電源スイッチ、電源インジケータなどの、ボタンやインジケータを収めたコンピュータの部品。

コンベンショナルメモリ

RAM の最初の 640 KB。コンベンショナルメモリはすべてのコンピュータに存在します。MS-DOS® プログラムは、特別な設計でない限り、コンベンショナルメモリ内で実行されます。

コンポーネント

DMI 関連では、管理可能なコンポーネントには、オペレーティングシステム、コンピュータシステム、拡張カード、および DMI 対応の周辺機器が含まれます。各コンポーネントは、そのコンポーネントに関連したものとして定義されるグループおよび属性で構成されます。

サービスタグナンバー

弊社カスタマーサポートまたはテクニカルサポートをご利用の際に、コンピュータ識別のために使うバーコードラベルに記載された番号。

システムディスク

「起動用ディスク」を参照してください。

システムメモリ

「RAM」を参照してください。

システム基板

コンピュータの主要な回路ボードであるシステム基板には、RAM、周辺機器のコントローラ、各種 ROM チップなど、大部分の重要なコンポーネントが搭載されています。

システム設定情報

コンピュータに対して、取り付けられているハードウェアの種類と動作環境の構成を指示するデータ。メモリ内に保存されます。

シリアルポート

一般に、コンピュータにモデムを接続するとき使用する I/O ポート。コンピュータのシリアルポートは、9 ピンのコネクタが使用されていることで識別できます。

ジャンパ

ジャンパは、回路基板上の小さなブロックで、複数のピンが突き出ています。ピンにはワイヤを格納したプラスチック製プラグがかぶせてあります。ワイヤはピンとピンを接続して、回路を形成します。プラグをかぶせる位置を変えれば、基板の回路構成を簡単に変更することができます。

ストライピング

ストライピングは、3 台以上のハードディスクドライブを並べて 1 台のディスクドライブのように使用し（これをディスクアレイといいます）、データを各ディスクに分割して保存し、読み書きの速度を向上させます。ストライピングに使用される各ディスク内のスペース（ストライプ）は、各ディスクとも同じ容量です。仮想ディスクでは、ディスクアレイ内の一組のディスクセットに複数のストライプを設定することもできます。「ガーディング」、「ミラーリング」、「RAID」も参照してください。

セットアップユーティリティ

コンピュータのハードウェア構成やパスワード保護などの機能を設定して、システムの動作をカスタマイズするための BIOS プログラム。セットアップユーティリティは NVRAM に保存されるため、設定は明示的に変更しない限り有効に保持されます。

ターミネータ

一部のデバイス（SCSI ケーブルの終端に接続されるデバイスなど）では、ケーブル内信号反射や不正信号を防止するための終端処理が必要です。このようなデバイスを連結する場合は、ジャンパまたはスイッチを変更するか、デバイスの設定ソフトウェアで設定を変更して、ターミネータを有効または無効にする必要があります。

ディレクトリ

ディレクトリを使用すると、関連性のあるファイルをディスク上で「逆ツリー」の階層構造に編成することができます。各ディスクには 1 つの「ルート」ディレクトリがあります。ルートディレクトリから分岐する下位のディレクトリは「サブディレクトリ」といいます。サブディレクトリの下には、さらに別のディレクトリが枝状につながっていることもあります。

デバイスドライバ

オペレーティングシステムやプログラムが周辺機器と正しくインタフェースできるようにするためのプログラム。デバイスドライバには、ネットワークドライバのように、システム起動時に config.sys ファイルによってロードされるものや、（通常 autoexec.bat ファイルによって）メモリ常駐プログラムとしてロードされるものもあります。その他のドライバは、各プログラムの起動時にロードされます。

バス

コンピュータ内部の各コンポーネント間のデータ伝送路。たとえば、拡張バスは、プロセッサがコンピュータに接続された周辺機器用のコントローラと通信するための経路です。また、アドレスバスとデータバスは、プロセッサと RAM との間の通信に使用されます。

バックアップバッテリー

バックアップバッテリーは、コンピュータに電源が入っていないとき、メモリの特別なセクションに保存された日付、時刻、システム設定情報を保持します。

バックアップ

プログラムやデータファイルのコピー。安全対策として、コンピュータのハードディスクドライブは定期的にバックアップしてください。また、システム設定を変更する場合は、前もって重要な起動ファイルをオペレーティングシステムからバックアップしてください。

パーティション

fdisk コマンドを使用すると、パーティションと呼ばれる複数の物理セクションにハードドライブを分割できます。各パーティションには複数の論理ドライブを格納できます。各論理ドライブは format コマンドを使用してフォーマットする必要があります。

パリティ

データのブロックに添付する冗長情報。データ転送の誤り検出に使用されます。

ビーブコード

コンピュータのスピーカーから聞こえるビーブ音のパターンによる診断メッセージ。たとえば、1 回鳴った後にもう 1 回鳴ってから連続して 3 回鳴った場合、ビーブコードは 1-1-3 です。

ビット

コンピュータが認識する情報の最小単位。

ビデオアダプタ

モニタ (ディスプレイ) と連携してコンピュータのビデオ機能を実現するための論理回路。ビデオアダプタはシステム基板に組み込まれている場合や拡張スロットに装着する拡張カードの場合があります。

ビデオドライバ

選択された色数と希望の解像度を、グラフィックモードのアプリケーションプログラムやオペレーティングシステムの画面に表示するためのプログラム。取り付けられたビデオアダプタに合わせて、対応するビデオドライバが必要なこともあります。

ビデオメモリ

ほとんどの VGA ビデオアダプタと SVGA ビデオアダプタには、システムの RAM とは別に、メモリチップが内蔵されています。プログラムが表示できる色数は、主として取り付けられているビデオメモリの容量によって決まります (他の要因には、ビデオドライバとモニタの性能があります)。

ビデオ解像度

ビデオ解像度は、「横方向のピクセル数 × 縦方向のピクセル数」で表されます (例: 800 × 600)。特定の解像度でプログラムの画面を表示するには、ディスプレイがその解像度をサポートしていて、適切なビデオドライバがインストールされている必要があります。

ピクセル

モニタ画面上の単一の点。ピクセルを縦と横に配列して画像が表示されます。たとえば、640 × 480 というビデオ解像度は、横方向に 640 個のピクセル、縦方向に 480 個のピクセルが並んでいることを示します。

フォーマット

ファイルを格納できるように、ハードドライブやディスクを設定すること。無条件でフォーマットを行うと、ディスクに格納された全データが消去されます。

フラッシュメモリ

コンピュータに取り付けたまま、ディスク内のユーティリティを使って再プログラミングできる EEPROM チップ。一般の EEPROM チップは、特別なプログラミング用の装置を使わなければ書き換えはできません。

ブレード

プロセッサ、メモリ、ハードドライブを組み込んだモジュール。このモジュールは、電源装置とファンを搭載したシャーシに取り付けます。

プロセッサ

演算機能と論理機能の解釈と実行を制御する、コンピュータ内部の主要な演算チップ。通常、特定のプロセッサ用に書かれたソフトウェアを別のプロセッサ上で実行するには、ソフトウェアの改訂が必要です。「CPU」、「マイクロプロセッサ」ともいいます。

プロテクトモード

コンピュータの動作モード。プロテクトモードでは、オペレーティングシステムを通じて次のことが実現されます。

- 1 最大 4 GB のメモリアドレススペース (80286 プロセッサでは 16 MB まで)
- 1 マルチタスク
- 1 仮想メモリ (ハードドライブを使用して、アドレッシング可能なメモリを増加させる技法)

32 ビットの Windows 2000 と UNIX オペレーティングシステムは、プロテクトモードで実行されます。MS-DOS はプロテクトモードでは実行できません。

ヘッドレスシステム

キーボード、マウス、モニタを接続しなくても機能するコンピュータまたはデバイス。通常、ヘッドレスシステムはインターネットブラウザを使ってネットワーク経由で管理します。

ホストアダプタ

ホストアダプタは、コンピュータのバスと周辺機器用のコントローラとの間の通信を実現します(ハードドライブコントローラサブシステムには、集積ホストアダプタ回路が内蔵されています)。SCSI 拡張バスをシステムに追加するには、適切なホストアダプタの取り付けまたは接続が必要です。

ミラーリング

データ冗長性的一种。複数の物理ドライブを一組にしてデータを格納し、さらに一組または複数組の追加ドライブに同じデータのコピーを格納します。ミラーリング機能はソフトウェアによって実現されます。「ガーディング」、「内蔵ミラーリング」、「ストライピング」、「RAID」も参照してください。

メモリアドレス

コンピュータの RAM 内部にある特定の位置。通常、メモリアドレスは 16 進数で表します。

メモリ

コンピュータ内で基本的なシステムデータを記憶するハードドライブ以外の装置。コンピュータには、複数の異なったタイプのメモリが搭載できます。たとえば、内蔵メモリ (ROM と RAM)、増設メモリモジュール (DIMM) などです。

メモリモジュール

DRAM チップを組み込んだ小型回路基板で、システム基板に接続します。

ユーティリティ

メモリ、ディスクドライブ、プリンタなどのシステム資源を管理するためのプログラム。

ローカルバス

ローカルバス拡張機能を持つコンピュータでは、特定の周辺デバイス (ビデオアダプタ回路など) を従来の拡張バス使用の場合よりもかなり高速に動作するように設定できます。「バス」も参照してください。

拡張カードコネクタ

拡張カードを差し込むシステム基板またはライザボード上のコネクタ。

拡張カード

コンピュータのシステム基板の拡張スロットに装着する基板。拡張カードは、拡張バスと周辺機器間のインタフェースとして、システムに特別な機能を追加します。たとえば、ネットワークカードや SCSI アダプタは拡張カードです。

拡張バス

コンピュータには、プロセッサがネットワークカードなどの周辺機器のコントローラと通信できるようにするための拡張バスがあります。

管理タグ

通常はシステム管理者によって、セキュリティやトラッキングのためにコンピュータごとに割り当てられるコード。

起動ルーチン

コンピュータを起動すると、起動ルーチンによって、すべてのメモリのクリア、デバイスの初期化、オペレーティングシステムのロードが行われます。オペレーティングシステムが正常に応答する場合は、<Ctrl><Alt> キーを押して、再起動できます。これを「ウォームブート」といいます。これに対して、オペレーティング

システムが正常に応答しない場合は、リセットボタンを押すか、電源をいったん切ってから入れ直して起動しなければなりません。これを「コールドブート」といいます。

起動用ディスク

起動用ディスクは、ハードドライブから起動できない場合に、オペレーティングシステムを起動させるために使います。

周囲温度

コンピュータが設置されている場所や部屋の温度。

周辺機器

コンピュータに接続される内蔵装置または外付け装置（ディスクドライブ、キーボードなど）。

診断プログラム

コンピュータの診断に必要なさまざまなプログラムをセットにしたソフトウェア。

読み取り専用ファイル

読み取り専用ファイルとは、編集や削除が禁止されているファイルのことをいいます。

内蔵プロセッサキャッシュ

プロセッサに内蔵された命令キャッシュとデータキャッシュ。「キャッシュ」も参照してください。

内蔵ミラーリング

内蔵ミラーリングによって 2 台のドライブを同時に物理的にミラーリングすることができます。内蔵ミラーリング機能はコンピュータのハードウェアによって実現されます。「ミラーリング」も参照してください。

[目次ページに戻る](#)